

# 応募申込書

年 月 日

一般社団法人 日本建設業連合会 御中

応募者住所

会社名

(社印)

代表者名

関係書類を添付のうえ、2020年 日建連表彰 第1回土木賞の応募の申込みをいたします。

受付No. (応募事務局使用欄)

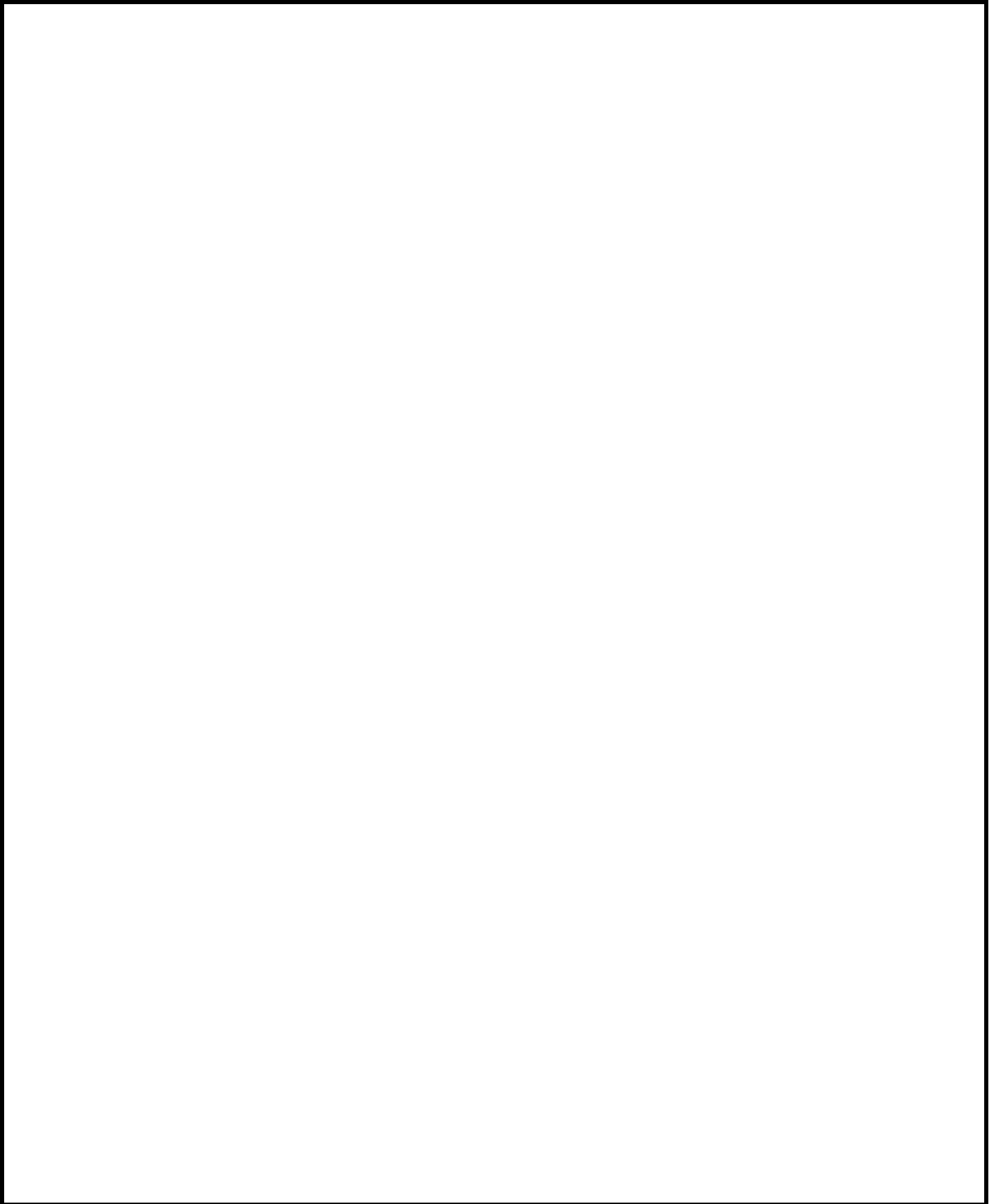
ふりがな			
応募プロジェクト・ 構造物の名称			
同 所在地		構造物 の用途	
建 設 関 係 者		(施設管理者名/会社名・代表者名・ふりがな)	(〒・住所・電話)
	施設管理者 (発注者等を含む)		
	設計者		
	施工者		
	施工プロセスに貢献した多様な関係者		
(施工プロセスに貢献した多様な関係者の貢献度)			
(備考)			

(使用するフォントは、原則、MS明朝10ptとして下さい。)

- (注) 1. 共同で業務に従事した場合には、応募に当たって、関係者名の表示等について関係者間での同意を徹底して下さい。作成上の注意事項イ.の規定に基づき、選考の過程で応募者の適格性について確認し、変更を求める場合があります。
2. 共同企業体の場合、共同企業体名称の下にすべての構成会社の会社名・代表者名・住所・電話をご記入下さい。(スペース内に収まらない場合は別紙を設けてご記入下さい。)
3. 雑誌掲載や表彰等の経歴があれば、備考欄に記入して下さい。
4. CM等の発注形態を採用したことにより、建設関係者が通常の発注形態と異なる場合は、事務局へ事前に照会して下さい。
5. 施工プロセスに貢献した多様な関係者は、応募要領の別表-1を参照して下さい。関係者の欄は、いずれも会社名と、法人の代表者名を記入して下さい。
6. 社印は、電子データ上は必要ありません。書面提出用に押印してください。

# 応募プロジェクト・構造物 位置図

◎同寸大の印刷物があれば貼付も可



(使用するフォントは、原則、MS明朝10p tとして下さい。)

# 応募プロジェクト・構造物説明書

## 1. 概要

### ○ 連絡担当者

応募プロジェクト・構造物に関する事務連絡窓口	
応募会社名	
所在地	〒  TEL FAX
所属部署・役職	
氏名	E-mail

### ○ プロジェクト・構造物概要

--

(使用するフォントは、原則、MS明朝10ptとして下さい。)

(様式1)

(注) 1. 様式1ではプロジェクト・構造物の概要に留め、プロジェクトの特徴や取組み内容は、様式3に記載して下さい。

○ 工事概要

工 程	工事期間	着工	年 月 日	竣工	年 月 日	期間	年 月 日	
	特記事項							
工 事 金 額 ( 単 位 千 円)	総工事金額							千円
	特記事項							
安全成績	強度率 (延労働損失日数 ／延実労働時間 数) × 1,000				度数率 (労働災害による 死傷者数／延実労 働時間数) × 1,000,000			

(使用するフォントは、原則、MS明朝10p tとして下さい。)

(様式2)

- (注) 1. 工程、工事金額について特記すべき点があれば、特記事項の欄に記入して下さい。特に設計・施工やPFI事業など、総合工事金額に施工以外が含まれる場合は、その内訳を特記事項に明記して下さい。
2. 工事金額は、施工者の最終の請負金額とし、税込金額を記入して下さい。
3. 工事金額は必須記載事項です。他の記載事項同様に選考委員会資料のみに使用し、それ以外には使用しません。

## 2. 企画・設計・施工その他プロジェクト・構造物に関する事項

全体を通して、以下の項目の視点を参考に、特筆すべき事項を中心に、挿絵やグラフを用いて、2,000字程度以内で、かつ**本様式の範囲（2ページ）**にまとめて下さい。

- ・事業企画（構造物に係わる事業プログラムの健全性、社会的ニーズへの適合性）
- ・計画・設計（構造形式・景観等の斬新性、適切性、技術の先進性）
- ・施工（施工技術・管理手法の斬新性・効率性、難条件の克服度）
- ・環境（地域環境との調和、地球環境への配慮、構造物周辺環境の整備）
- ・維持管理（設計・施工時における竣工後の検査、維持管理を考慮した工夫、及び施設の運用性、ライフサイクルに係わる波及性）

### 3. 施工プロセスの視点を踏まえた特徴

「施工プロセスの視点を重視した評価を行うことから、募集要項の別表-2に記載の「『施工プロセスの視点』の例」を参考に、施工プロセスのPRポイントを、見出し等を入れて800字程度以内で本様式の範囲内で簡潔にまとめて下さい。なお、「施工プロセスの視点」の項目について、該当する全て項目の左欄に「●」を付けて下さい。

#### 【施工プロセスの改善】

<b>(コストの低減)</b>	
<input type="checkbox"/>	建設費の低減
<input type="checkbox"/>	ライフサイクルコストの低減
<input type="checkbox"/>	補償費等の抑制
<b>(環境の維持)</b>	
<input type="checkbox"/>	建設工事に伴う公害の防止(騒音/振動/水質汚濁/大気汚染等)
<input type="checkbox"/>	施工中の景観の保全
<input type="checkbox"/>	作業環境の改善
<input type="checkbox"/>	自然環境の保全
<input type="checkbox"/>	CO2排出量削減
<b>(交通の確保)</b>	
<input type="checkbox"/>	規制時間の短縮
<input type="checkbox"/>	交通ネットワークの確保
<b>(特別な安全対策)</b>	
<input type="checkbox"/>	第三者の安全確保
<input type="checkbox"/>	施工者の安全確保
<b>(省資源又はリサイクル)</b>	
<input type="checkbox"/>	エネルギー消費量の削減
<input type="checkbox"/>	建設副産物の発生量削減

#### 【良質な社会資本の効率的創出】

<b>(構造物の性能・機能の向上)</b>	
<input type="checkbox"/>	耐久性の向上
<input type="checkbox"/>	強度の向上
<input type="checkbox"/>	美観の向上
<input type="checkbox"/>	供用性の向上
<b>(安全・安心の向上)</b>	
<input type="checkbox"/>	安全・安心の向上
<b>(生産性向上)</b>	
<input type="checkbox"/>	工程短縮
<input type="checkbox"/>	限定された期間内での確実な施工
<input type="checkbox"/>	情報共有システムの活用
<input type="checkbox"/>	情報化施工
<input type="checkbox"/>	プレキャスト化
<input type="checkbox"/>	機械化・ロボット化
<input type="checkbox"/>	省人化
<input type="checkbox"/>	i-Construction

#### 【土木技術の発展・伝承】

<input type="checkbox"/>	技術伝承の取り組み、育成
<input type="checkbox"/>	建設業を取り巻く他産業との関係強化
<input type="checkbox"/>	新しい建設システム
<input type="checkbox"/>	特別な事業マネジメント

#### 【その他】

<input type="checkbox"/>	建設業のイメージアップ活動
<input type="checkbox"/>	社会貢献活動
<input type="checkbox"/>	復興支援
<input type="checkbox"/>	特別な地元対策 etc
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	

↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑

該当する項目がない場合は、網掛け部分に具体的な項目を記入の上、左欄に「●」を入力して下さい。